

教えて！
ドクター

Tell Me Doctor

早期発見・早期治療が重要です

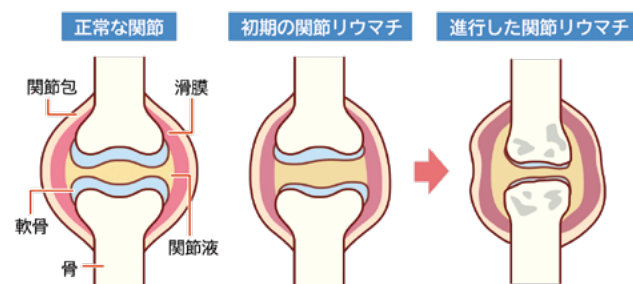
関節リウマチって どんな病気？

関節リウマチは進行してしまうと、関節が破壊され変形してしまっ、元には戻らない病気です。しかし昨今では新しい薬も開発され、関節リウマチの治療は大きく進歩しています。

そこで、くわしいお話を膠原病・リウマチ科の後藤 大輔先生にお聞きしました。

Q.「関節リウマチ」とは どんな病気ですか

A. 関節は骨と骨とが軟骨を介して接して一定の動きを可能としますが、その周囲は滑膜という膜で覆われています。その滑膜から炎症が広がり、関節の腫れ（炎症）や痛みを感じるようになり、次第に関節を構成している骨や軟骨が溶けて、変形を生じる病気です。



代表的な関節変形



出典：メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイドより

Q.「関節リウマチ」はどのような原因でなりますか。

A. 遺伝的素因や環境因子など多くの原因が指摘され、複数の要因が重なって発症すると考えられていますが、詳細は分かっていません。興味深い点としては、喫煙や歯周病との関連が指摘されていますので、生活習慣も原因の一つとなる可能性があります。

Q.「関節リウマチ」は どのような人に 多いですか。

A. 100～200人に1人の割合で発症する比較的患者さんの多い病気です。多くは30歳以上で発症し、男性より女性の方が3～5倍多い疾患です。さらに、最近の高齢化社会を反映してか、60歳以上での発症が増えています。

Q.「関節リウマチ」の 治療方法について 教えてください。

A. 内服薬の抗リウマチ薬の中でもメトトレキサート（MTX）を中心とした治療が推奨されています。それ以外にも内服の治療薬が数種類ありますし、高額となりますが強力な注射製剤もあり、2000年頃から治療は劇的に良くなっています。個々の患者さんの病状や体調などによって薬を使い分けて、最適な治療を行います。

Q.「関節リウマチ」の 症状にはどのような ものがありますか。

A. 関節の腫れと痛みが主な症状で、次第に関節が動かし難くなります。あらゆる関節で発症しますが、頸椎の一部を除いて胸椎、腰椎など、脊椎（背骨）には症状は出ません。また、関節以外にも間質性肺炎や血管炎などの内臓病変を合併することがあるので注意が必要です。

Q.「関節リウマチ」の 治療中に注意する ことはありますか。

A. 新しい薬を始めた後に体調の変化があれば主治医に伝えてください。また、MTXなどの免疫抑制薬や注射製剤で治療中の場合は、感染症（風邪など）を発症した時には中止すべき薬剤もあり、あらかじめ主治医に確認しておきましょう。ただし、ステロイド（プレドニゾロンなど）だけは急に中止しないように注意してください。



膠原病・リウマチ科 部長
筑波大学附属病院・茨城県地域臨床教育センター准教授
ごとう だいすけ
後藤 大輔

後藤先生
から
ひとこと

関節リウマチ治療はかなり充実してきていますので、早期発見・早期治療が重要な疾患の一つです。これくらいなら我慢できるからといって様子を見てみると、元に戻らない関節の変形が生じ、生活に不自由する状態になってしまう可能性があります。関節リウマチが疑わしい場合には専門医の診察を受け、診断が確定した場合には速やかに適切な治療を受けることをお勧めいたします。